



全国選抜合宿を終えチーム練習に戻った長岡(右)

全国選抜合宿参加 「心の強さ感じた」

室蘭・海星学院高の長岡さん

帰蘭後、チームに好影響

日本バスケットボール協会の全国選抜合宿「女子U-18トップエンデバー」に参加していた室蘭・海星学院高校の長岡侑里(3年)が帰蘭した。「一人一人が本当に高い意識の中、プレーしていた」と貴重な経験をチームに還元している。合宿は3月7日から3日間、東京都内で実施。全国9ブロックから選出されたトップ選手38人が参加した。第23回日・韓・中ジュニア交流競技会(8月)に

出場する女子U-18日本代表チームの選考会も兼ねて開催された。

練習ではゾーンオフフェンスや2対2、3対3でのコンビネーションプレーを中心にゲームなどを行った。「身長があっても動ける選手がたくさんいた。みんなミスしても堂々とするなど心の強さを感じた」と感想を語った。

2月の全道新人大会で、準優勝した海星学院高女子。インターハイ出場を目指し練習に熱を入れる。「(部員)一人一人が、ただ練習するだけではなく、意図や意味を理解しながらやっていたければ海星の目指すバスケットになると思う。個人では、筋力、瞬発力をもっとつけなければいけない」と力を込めた。

海星学院高校の中島洋介監督は「(長岡の合宿参加は)チームにとって良い影響を与えてくれるだろう」と話していた。

(奥村憲史)